

「ESR 久喜ディストリビューションセンター」 2020年1月より Amazon が使用開始



「ESR 久喜ディストリビューションセンター」

ESR 株式会社（代表取締役：スチュアート・ギブソン、本社：東京都港区虎ノ門・以下、ESR）はこの度、埼玉県久喜市に竣工済の4階建てマルチテナント型「ESR 久喜ディストリビューションセンター」（以下、久喜 DC）において、アマゾンジャパン合同会社（以下、Amazon）と3-4階の全2フロア〈延床面積 72,392 m²（21,899 坪）〉の賃貸借契約を締結し、2020年1月より使用開始頂くことをお知らせいたします。

AmazonとESRはレッドウッド藤井寺ディストリビューションセンター（大阪府藤井寺市）に次いで2件目の契約となり、契約期間は2020年1月1日より2024年12月31日（60か月）。久喜 DC は本契約により稼働率が97%となります。

ESRは「HUMAN CENTRIC DESIGN.（人を中心に考えたデザイン）」を基本理念に物流施設を開発しておりますが、久喜 DC も働く方にとって快適な環境を提供すべく、デザイン性の高いラウンジやショップ、託児所施設を完備しております。本年夏休みにはテナント企業の従業員のお子様を対象に英語も学べる「ESR 学童スクール」を無料で開講いたしました。

また、久喜 DC は環境保護の施策として、全館 LED 照明を採用、太陽光発電システム（PCS 出力量 1.69MW）や敷地の緑化などに取り組むことで CASBEE* A ランクも取得。久喜市と災害時に地域住民の一時避難場所として使用して頂く災害協定を結んでおり、所有していた一部の土地を久喜市に寄付し地域住民のための公園・緑地として活用頂くなど、地域社会や地球環境との調和にも取り組み、新たな雇用創出、地域経済の活性化にも貢献しております。大学跡地という安心できる場所で、貯水池も併設、非常用発電機などテナント企業の BCP 対策（事業継続計画性）に配慮した取り組みも行っております。

ESR 株式会社 代表取締役 スチュアート・ギブソン コメント

「今回、Amazon 様に我々が自信を持って開発した久喜 DC にもご入居頂けることとなり、大変光栄に存じております。近年、E コマースの急速な伸びを支える物流のバリューチェーンの変革に伴い、首都圏では戦略的な場所でより機能的で高度化された先進

的大型物流施設のニーズがますます高まっています。この5年間弊社が開発してきた首都圏の物流施設について挙げれば、竣工後満床稼働するまでの期間が想定より短いことがその証と思っています。」

* 国土交通省が主導する（財）建築環境・省エネルギー機構内に設置の委員会が開発・運用する、建築環境総合性評価システム。
[Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency]の略。

<ESR 久喜ディストリビューションセンター 物件概要>

圏央道と接続している東北道久喜 IC からは約 2.5km、JR・東武伊勢崎線久喜駅から約 3.3 km に位置し、広域配送の最適地

- 【物流効率化】：「東北道」と「圏央道」の連結エリア（久喜 IC まで約 2.5 km）
- 【事業継続性】：大学跡地で安心の立地実績、貯水池併設（非常用発電機を装備）
- 【人材確保】：バス運営3社・停留所7箇所利用可能、久喜駅からバス6～8分
- 【人材定着】：周辺にコンビニ・ショッピングモール、自転車通勤可能エリア

□所在地：埼玉県久喜市上清久字棧敷 1000-1

□敷地面積：81,159 m² (25,551 坪)

□延床面積：151,501 m² (45,829 坪)

□用途地域：市街化調整区域

*都市計画法第 29 条の開発許可取得済み

□構造：地上 4 階建・ダブルランプ式マルチテナント型

□竣工日：2018 年 9 月 30 日

□アクセス：（車）2.5km 東北自動車道「久喜 IC」

5.0km 圏央道「白岡菖蒲 IC」

0.1km 県道 12 号川越栗橋線

（電車）3.3km JR 東北本線・東武伊勢崎線「久喜駅」

2.4km 東武伊勢崎線「鷲宮駅」

■45km 東京都心



外観



1F エントランスホール



KLÜBB Lounge(ラウンジ)



BARNKLÜBB (託児所)

<ESR について> www.esr.com/jp (日本語サイト)

ESRはアジア太平洋地域に特化した戦略で挑戦を続ける物流不動産会社です。香港にグループ本社を置き、日本・中国・韓国・シンガポール・インド・オーストラリアを拠点に、そのネットワークを活かし、お客様には先進的な物流施設・ソリューションの提供を通じビジネスをサポートし、投資家の皆様には物流不動産セクターへのダイナミックな投資機会を提供いたします。

2006年にレッドウッド・グループとしてその歩みを始め、2016年に現ESR役員と米国プライベートエクイティ投資会社のウォーバーク・ピンカスによりESRは創設。2016年10月に日本法人レッドウッド・グループ・ジャパン株式会社は現・ESR株式会社に社名変更。2019年11月1日に香港証券取引所に上場いたしました。

開発・所有・運営する物流施設の資産価値 (AUM) は 200 億米ドル以上、延床面積 (GFA) は 1500 万㎡以上。(2019年6月末時点)
日本では大都市圏 (首都圏・関西圏・中部圏) に特化した戦略で、これまで 18 の物流施設を竣工させ、現在 8 プロジェクトを開発中。

[HUMAN CENTRIC DESIGN.(人を中心に考えたデザイン)] を基本理念に、テナント企業の皆様が弊社施設で働くことを誇りに思っていただけけるよう、快適な物流施設の創出に力を入れています。魅力的な職場を創り、子育て中の女性・共働き家庭を支援することがテナント企業様の労働力確保のサポートができると考え、延床 10 万㎡以上の施設には子供たちの想像力を刺激するデザインの託児所 (BARNKLÜBB バーンクラブ)、ホテルか空港にいるような洗練されたデザインのラウンジ (KLÜBB Lounge クラブラウンジ)、軽食や飲み物を取りそろえたショップ (KLÜBB shop クラブショップ) を完備しています。

これからもアジア太平洋地域の 21 世紀の新しい経済と物流の未来のために、環境と働く人にも考慮した独自の先進的物流施設とソリューションの創出に全力で挑戦し続けます。

本リリースに関するお問い合わせ先

ESR 株式会社 PR 担当 : 横山 智子

☐ Tel.(代表) 03-4578-7121 ☐ Email. TYokoyama@jp.esr.com